

第16回青森県民スポレク祭マスターズ陸上競技開催要項

- 1 主催 青森県 青森県教育委員会 (公財) 青森県スポーツ協会
(一社) 青森県レクリエーション協会 青森県スポーツ推進委員協議会
- 2 主管 (特非) 青森県スポーツ・レクリエーション連盟
青森マスターズ陸上競技連盟 (一財) 青森陸上競技協会
- 3 日時 2023年6月24日(土) 開会式: 9時00分 競技開始: 9時50分
- 4 会場 カクヒログループアスレチックスタジアム(新青森県総合運動公園陸上競技場)
〒039-3505 青森市大字宮田字高瀬22-2 電話: 017-752-0641
- 5 参加資格 競技会当日(6月24日)の満年齢で、男女ともに18歳以上(高体連・学連登録者を除く)の健康な県民であれば誰でも参加できる。
- 6 年齢区分 競技会当日の満年齢で、次の年齢区分とする。
〔男子〕 M-24(18~24歳 ただし高体連・学連登録者を除く) M25(25~29歳) M30(30~34歳)
M35(35~39歳) M40(40~44歳) M45(45~49歳) M50(50~54歳) M55(55~59歳)
M60(60~64歳) M65(65~69歳) M70(70~74歳) M75(75~79歳) M80(80~84歳)
M85(85~89歳) M90(90~94歳) M95(95~99歳) M100(100~104歳)
〔女子〕 W-24(18~24歳 ただし高体連・学連登録者を除く) W25(25~29歳) W30(30~34歳)
W35(35~39歳) W40(40~44歳) W45(45~49歳) W50(50~54歳) W55(55~59歳)
W60(60~64歳) W65(65~69歳) W70(70~74歳) W75(75~79歳) W80(80~84歳)
W85(85~89歳) W90(90~94歳) W95(95~99歳) W100(100~104歳)
- 7 種目
〔男女共通〕 60m、100m、200m、400m、800m、1500m、
3000m (M60以上・W50以上)、5000m (M55以下・W45以下)、
4×100mR (クラス別)、4×400mR (クラス別)
走高跳、走幅跳、三段跳、立五段跳、砲丸投、円盤投、やり投
※ 三段跳及び立五段跳については、踏切板から砂場までの距離、13m、11m、9m、7m、5mとする。
また、申込時に踏切板距離を事前に申告をすること。
なお踏切版の設備がない場合は、白線を引いて踏切板とする。なお、選手は自分の使用する
踏切板を競技開始前にも担当審判員に申告すること。
- 8 競技規則 (1) 2023年度(公財)日本陸上競技連盟規則及び(公社)日本マスターズ陸上競
技連合規則と本大会競技注意事項による。
(2) 投てき競技の用具は、主催者が準備したものを使用する。
(3) 投てき競技の用具基準は、別表による。
(4) トラック競技は全種目タイムレースとし、フィールド競技における試技は各3回
とする。(ただし、走高跳は除く)
(5) リレーを除き1人3種目まで出場できる。ただし、リレーのみの出場は認めない。
- 9 表彰 各クラス、各種目1位から3位までに賞状を授与する。
- 10 申込締切 2023年5月19日(金) 必着で申し込むこと。
- 11 申込方法 大会申込書に、氏名(漢字とフリガナ)/性別/6月24日現在年齢/西暦生年月日

/種目(最大3種目)/郵便番号/住所/電話番号を記入し、2023年4月30日(日)までに下記ゆうちょ銀行口座へ振り込むこと。

または、青森マスタース陸上公式LINE、もしくはInstagramのDMにて申し込むこともできる。その場合は上記に加え、メールアドレスを記載していただき、確認メール送信するので1週間以内に入金して申込完了となる。

※ 振込先口座 ゆうちょ銀行 ・口座記号番号： 02260-3-125867
 ・加入者名： 青森マスタース陸上競技連盟

12 参加料 1人 2,000円

13 保険について 青森マスタース陸上競技連盟において傷害保険に加入する。

14 その他 (1) 大会中に発生した傷害及び物損事故等に関しては、保険の補償範囲を超えた責任は一切負わないことを承認のうえ参加すること。

(2) アスリートビブス及びプログラムは、当日会場受付にて配布する。

(3) 雨天決行(台風暴風雨等の時は中止)

中止の際、前日22時に公式LINE、Instagramに通知する。

(4) 多種目同時出場について

競技者が、同時にトラック競技とフィールド競技あるいは2種目以上のフィールド競技に参加する場合には、審判長は1ラウンドに一度、走高跳および棒高跳で各試技に一度、競技会に先立って決めた順序によらないで、その試技を許すことができる。もし、競技者がその後の特定の試技に不在の時、その試技時間が過ぎれば、パス扱いとなる。

[注意] 審判長は、フィールド競技の最終ラウンドで異なる順序で試技を行うことを認めてはならないが、それ以前のラウンドでは認めることができる。混成競技ではどのラウンドでも異なる順序で試技を行うことを認めることができる。

[国内] 走高跳および棒高跳においては、事前に申告し無効試技扱いとすることができる。

【別表】※ 各投てき競技におけるクラス別用具の最小重量基準は下記の通りとする。

	競技クラス	砲丸	円盤	やり
男子	M-24~M45	7.26kg	2.0kg	800g
	M50・M55	6.00kg	1.5kg	700g
	M60・M65	5.00kg	1.0kg	600g
	M70・M75	4.00kg	1.0kg	500g
	M80以上	3.00kg	1.0kg	400g
女子	W-24~W45	4.00kg	1.0kg	600g
	W50~W70	3.00kg	1.0kg	500g
	W75以上	2.00kg	0.75kg	400g